

二野大森線がついに開通!

10月7日、市道56号線(二野大森線)の開通式が行われました。大勢の人が見守る中、トキワ幼稚園児によるときわ太鼓演奏と「麒麟児・みつひでクン」の合唱が披露され、式典に華を添えました。テープカットには、銘板を揮ごうした田牧さん、奥村さんも参加し、開通を祝いました。

市長は「役割は非常に大きく、今後も貴重な路線になる。開通とともに更なる発展につなげていきたい」と話しました。

YouTubeで動画も観てね!



テープカットの様子



野崎さん(左)と民生児童委員の木村鉦基さん

安心して暮らせるように

市内に住む80歳以上の約5,200人(高齢者施設入所者、介護サービス利用者を除く)を対象に、自宅訪問を実施しています。高齢者の孤立化を防いで社会とのつながりをつくり、安心して暮らせるようにと、来年1月末まで、民生児童委員や市の職員が相談機関の連絡先や行事の便りなどの情報を直接届けます。

訪問を受けた広眺ヶ丘の野崎よし子さんは「色々な情報がもらえてありがたい。皆さんの助けもあり、サロンなどにも出かけ楽しく過ごしている」と感謝を伝えました。

健康がいちばん!

10月19、20日、第29回健康フェア可児が文化創造センター・アールで行われました。医師や歯科医師の相談や岐阜医療科学大学生が行う肺年齢測定など、参加団体による健康に関するさまざまなブースが開かれ、多くの人でにぎわいました。

開催案内のポスターを見て一家で来場した渡邊さんは、スタンプラリーをしながら色々なブースを見て「これから健康を意識して生活するきっかけにしたい」と話してくれました。



野菜を使った手づくり健康おやつなどを試食



テープカットの様子

産業で可児を元気に!

10月26、27日、産業フェアin可児2019が文化創造センター・アールで行われました。市内外から約100の企業と団体が参加。会社の特徴を紹介したり、製品を配ったりするブースや可児工業高校の生徒による成果発表会、幼稚園児による催しなどで来場者をもてなしました。

開会のあいさつで可児商工会議所の渡辺会頭は「可児には意欲溢れる企業がたくさんある。その良さを多くの人に知ってもらい、盛り上げていきたい」と話しました。



職員と一緒に作成に携わった(左から)安藤さん、松本さん、鈴木さん

かわいい出生届&記念証が完成♪

Kanisuki若者プロジェクトとして、地元の高中生と市の若手職員の協力で、明智光秀・森乱丸の生誕地やバラのまち可児をPRするために作成していたオリジナル出生届と出生記念証が完成しました。鈴木さん(当時加茂高3年)は「作成していく中で、普段は気付かない可児の魅力が再発見できて良かった。可児市で使ってもらえると思うとすごく嬉しい」と話しました。

10月1日から配布した同届の第1号は、7日に提出した村上さん(下恵土在住)です。「本当にかわいいデザインで、新しい出生届が使えて良かった。記念証には、家族からのコメントを添えて飾りたい」と話してくれました。

同届にデザインされた明智光秀オリジナルキャラクターは、どなたでも使用できるようになりました。詳しくは5ページをご覧ください。



窓口で提出する村上さん夫婦と次女の優芽ちゃん

自治会の魅力を発信

9月30日、自治会への加入を促進する市自治連絡協議会の長谷川彰会長と、全日本不動産協会 浅野県本部長、県宅地建物取引業協会 土屋中濃支部長が市役所を訪れ、市との4者で連携協定を結びました。

長谷川会長は「新しく入居される方の戸惑いを減らし、入りやすい自治会を目指す」と話しました。市内に75社ある各協会加盟店では自治会の魅力を伝えるパンフレットや加入連絡票の配付などで、新たな住人と自治会とのパイプづくりに貢献いただきます。



(左から)市長、浅野さん、土屋さん、長谷川さん



藤田社長(左)と副市長

大河ドラマ館前売り券をプレゼント

10月1日から「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」前売券の発売が始まり、株式会社甲山製作所(本社:二野)から、市内高齢者に前売券600枚を寄贈いただきました。同社の藤田幸夫社長は「可児に大河ドラマ館ができるので、近くの高齢者にも行ってほしい。地域を応援していきたい」と話しました。

この前売券は、10月3日に行われた「いきいき長寿のつどい」の参加者に配られました。